

資金収支計算書に対する注記

1 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、前払金、仮払金、未払金、前受金、預り金を含めている。
なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

科目	前期末残高	当期末残高
現金預金	103,865,202	138,600,796
未収金	22,752,640	3,110,457
前払金	1,786,578	1,497,745
仮払金	3,320	54,655
合計	128,407,740	143,263,653
未払金	79,063,346	80,862,984
前受金	754,490	13,679,090
預り金	2,367,479	1,571,177
合計	82,185,315	96,113,251
次期繰越収支差額	46,222,425	47,150,402

3 科目間の流用及び予備費の使用について

(1) 科目間の流用

予算科目のうち事業費支出—臨時雇用賃金支出より 250,000 を事業費支出—給料手当支出に流用した。
 予算科目のうち事業費支出—臨時雇用賃金支出より 900,000 を事業費支出—福利厚生費支出に流用した。
 予算科目のうち事業費支出—通信運搬費支出より 3,000,000 を事業費支出—給与手当支出に流用した。
 予算科目のうち事業費支出—消耗品費支出より 200,000 を事業費支出—消耗什器備品費支出に流用した。
 予算科目のうち事業費支出—消耗品費支出より 300,000 を事業費支出—光熱水費支出に流用した。
 予算科目のうち事業費支出—広告宣伝費支出より 1,500,000 を事業費支出—負担金支出に流用した。
 予算科目のうち管理費支出—給料手当支出より 20,000 を管理費支出—役員報酬支出に流用した。
 予算科目のうち管理費支出—消耗品費支出より 70,000 を管理費支出—修繕費支出に流用した。
 予算科目のうち管理費支出—消耗品費支出より 10,000 を管理費支出—保険料支出に流用した。
 予算科目のうち管理費支出—租税公課支出より 150,000 を管理費支出—負担金支出に流用した。
 予算科目のうち管理費支出—租税公課支出より 60,000 を管理費支出—手数料支出に流用した。
 予算科目のうち管理費支出—租税公課支出より 400,000 を管理費支出—助成金支出に流用した。

科目	当初予算額	科目間流用額	流用後予算額
事業費支出—給料手当支出	109,978,000	3,250,000	113,228,000
事業費支出—臨時雇賃金支出	2,670,000	△1,150,000	1,520,000
事業費支出—福利厚生費支出	19,344,000	900,000	20,244,000
事業費支出—通信運搬費支出	7,446,000	△3,000,000	4,446,000
事業費支出—消耗什器備品支出	40,000	200,000	240,000
事業費支出—消耗品費支出	7,554,000	△500,000	7,054,000
事業費支出—光熱水費支出	6,470,000	300,000	6,770,000
事業費支出—広告宣伝費支出	6,494,000	△1,500,000	4,994,000
事業費支出—負担金支出	383,000	1,500,000	1,883,000
管理費支出—役員報酬支出	1,548,000	20,000	1,568,000
管理費支出—給与手当支出	28,309,000	△20,000	28,289,000
管理費支出—消耗品費支出	400,000	△80,000	320,000
管理費支出—修繕費支出	100,000	70,000	170,000
管理費支出—保険料支出	160,000	10,000	170,000
管理費支出—租税公課支出	5,532,000	△610,000	4,922,000
管理費支出—負担金支出	237,000	150,000	387,000
管理費支出—手数料支出	110,000	60,000	170,000
管理費支出—助成金支出	0	400,000	400,000